

授業概要

心理学は人間の行動や心のはたらきを探求する学問である。本講義では、心理学の主要理論を日常生活の中で経験する様々な事柄と関連づけて紹介し、人の心の基本的な仕組みや働きについて概説する。人間の行動や心のはたらきを知ることは、自分と他者を理解することにつながる。本講義の目的は、心理学の概要について理解し、今後の心理学関連のさまざまな講義の理解・学習に必要な基礎知識を身につけることである。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション：授業の進め方、成績評価の方法などについての説明
第 2 回	対人認知、印象評定、対人魅力
第 3 回	感情の心理学：感情とは何か？感情の機能
第 4 回	教育領域の心理学：「学級集団の特徴」、「どのように教え、どのように評価するか」
第 5 回	パーソナリティ：類型論と特性論
第 6 回	パーソナリティの査定：質問紙法、投影法、面接法
第 7 回	人の性格はどのように決まるか？環境と遺伝
第 8 回	幸福の心理学①：どんな人が幸せか
第 9 回	幸福の心理学②：幸せを決めるのは何か
第 10 回	個人と集団
第 11 回	対人影響力：説得の社会心理学
第 12 回	応用領域 1：観光心理学：「旅」をめぐる心理学
第 13 回	応用領域 2：恋愛心理学：出会いと別れをめぐる心理学
第 14 回	応用領域 3：消費者心理学：購買行動、広告、ファッションの心理学
第 15 回	振り返りとまとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

- 心理学の成り立ちや発展について理解する。
- 人の心の基本的な仕組み、および働きを理解する。

履修上の注意

毎週の講義後にリアクションペーパーの提出を求める。講義に対する質問や意見等を積極的に書くようにして欲しい。また、授業と関係のない私語は厳禁である。私語を含め周囲に迷惑をかけるような行動がみられる場合には、退席を求めることがあることに注意すること。

その他の注意事項について初回の授業時に伝えるため、初回授業には必ず出席すること。

予習・復習

【予習】講義内容に含まれるキーワードについて調べること。

【復習】講義で扱った内容と、自分の日々の生活上の出来事との関連を考えること。

評価方法

- 期末試験（100%）
- 講義全体に対する出席回数が 3 分の 2 に満たない者の単位は認めない。

テキスト

- 特に指定しない。講義は配布資料に基づいて進める。
- 参考図書は講義内でその都度紹介する。